

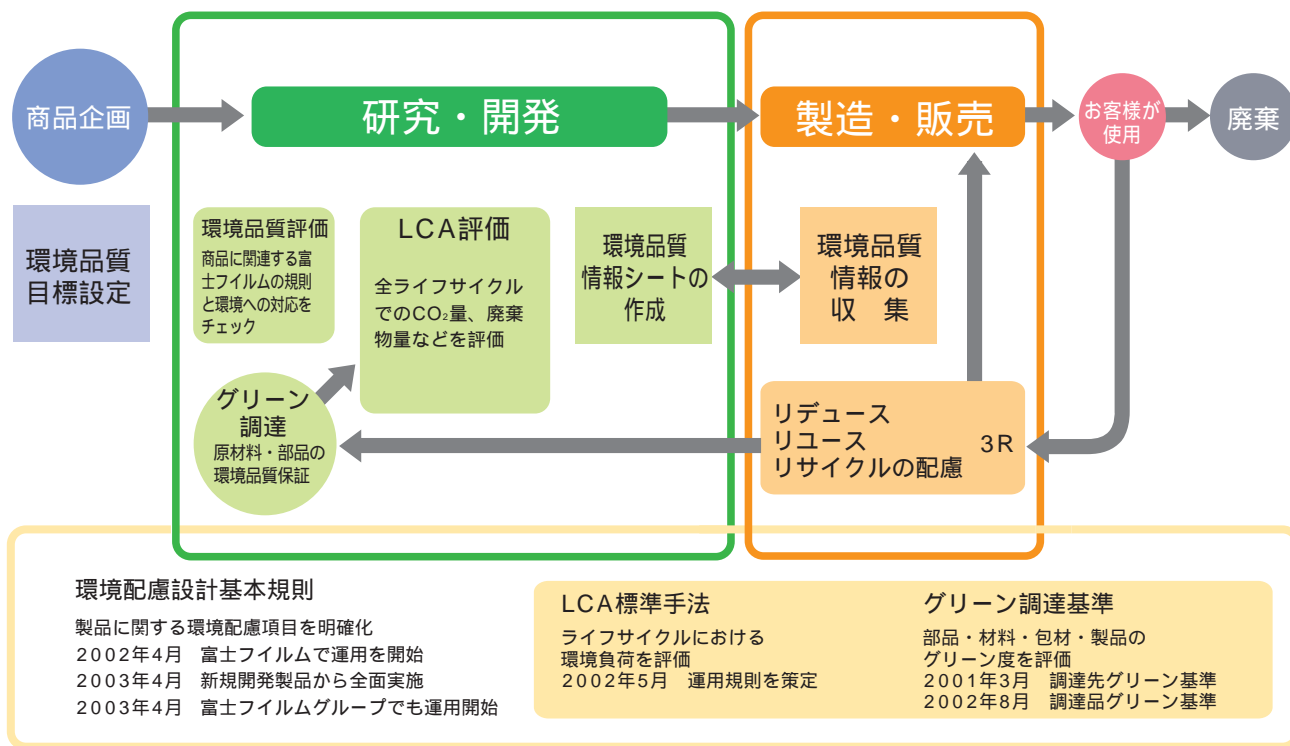
環境配慮設計のしくみ

環境配慮設計のしくみ

富士フィルムでは、「富士フィルムグループ グリーン・ポリシー」に従って、製品の“環境品質”向上にも取り組んでいます。従来個々の部門で行ってきた環境配慮への取り組みを、統一した基準で実施できるように全体のフレームワークを見直し、「環境配慮設計基本規則」を制定しました。製品化の各ステージにおいて実施する内容は下図の通りです。当社では2003年4月からは新規開発製品についてこの施策を全面実施するとともに、グループ会社においても運用を

開始しました。

2002年度には、製品のライフサイクル全体の環境負荷を定量的・客観的に評価する「LCA運用規則」も制定しました。ライフサイクルの各ステージでLCAを含む製品の“環境品質”が審議・承認されなければ製品化されない仕組みを確立しました。また調達面の強化も行い、調達先と調達品それぞれのグリーン調達基準を策定し、製品の“環境品質”評価に組み込みました。



LCA (Life Cycle Assessment : ライフサイクルアセスメント)

製品の開発から製造、使用、廃棄または再利用に至るまで、すべての段階における環境への影響を総合的に評価することをいいます。投入されるエネルギー量、材料の使用量、排出される二酸化炭素量などの数値を使って「製品の一生」を評価し、環境への負荷を洗い出します。